

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある美術展覧会事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	観覧者	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市民の美術に関する知識の向上が図られ、優れた美術を鑑賞する機会が充実しています。		多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	企画展・特集展開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	9	9	10	10		
	実績	7	9	9			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	企画展・特集展観覧者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	82000	82000	85000	85000		
	実績	90129	110853	90906			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成25年度の主な取組と成果							
歴代4位の観覧者数となった「はじめての美術 絵本原画の世界2013」などの企画展3本と特集展で、年間9本の展覧会を開催した結果、幅広い年代層の観覧があり、9万人を超える観覧者数となりました。							
平成25年度の検証結果	A：成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	企画展及び特集展で多様な分野の展覧会を開催し、市民が優れた美術を鑑賞する機会を提供することができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	展覧会の開催により、多くの市民が優れた美術に触れることが出来るとともに、継続することによりさらに美術への関心が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の芸術・文化の振興という目的に合致しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	展覧会を複数館で開催する巡回展やコレクターからの一括借用などにより経費削減を図ります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> リピーターの増加や美術に関心を持つ人を増加させるため、魅力ある展覧会の開催や文化ゾーン3館コラボレーション事業の継続と充実を図ることが必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催	企画展、特集展の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	41,397	31,731	29,326	34,045
	一般財源	4,285	5,703	7,717	4,860
事業費 (A)		45,682	37,434	37,043	38,905
執行率 (%)		84.92	92.93	99.08	
内訳	職員 (人)	3.05	3.30	3.35	3.35
	再任用 (人)	0.10	0.10	0.00	0.00
人件費 (B)		25,054	26,790	26,626	26,174
フルコスト (A+B)		70,736	64,224	63,669	65,079

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成27年度の取組方針</b> 公立美術館としての設置目的を果たすため、多くの方々に満足していただける展覧会事業を行います。
<b>課長コメント</b> 魅力ある展覧会を開催するとともに、文化ゾーン3館のコラボレーション事業の充実に努めます。